

事務事業名	みどりの景観整備事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	17	終了	
H27担当課等名	林務課		H27係等名	里山保全係		H26係等名	里山保全係					
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり									
	施策	51	緑の保全と創出									
目的	対象(誰・何を)	集落、農地、幹線道路から概ね700m以内の森林						対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	荒廃した集落周辺の森林(里山)の保全管理が図られることにより鳥獣被害の防止の効果が高める							集落周辺の森林(ha)		5	
	向上させたい上位施策の成果指標	身近な自然は守られているかと感じる市民の割合										
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	整備された集落周辺の森林(ha)				5	2.91	5	5			
	定性目標											
事業概要	野生鳥獣の耕作地への被害が増えているため、農地周辺の里山森林等の藪払い、不用木の除去をすることで、サル、イノシシ、クマ等による農林産物被害を防止する手立ての一つの方策と同時に、良好な森林景観を形成する。											
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標			
	野生鳥獣被害防除対策緩衝帯整備事業 森林と農地の境界周辺の荒廃した里山森林における藪払い、除間伐					整備計画面積(ha)			A=2.91ha			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		2,504	2,632	1,566	3,094	(県)野性鳥獣総合管理対策事業補助金(国1/2)						
国庫支出金												
県支出金		1,990	1,316	781	1,547							
起債												
その他												
一般財源		514	1,316	785	1,547							
人件費計(千円)②		1,252		1,252								
正規職員所要時間		350		350								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		3,756	2,632	2,818	3,094							
事業内容・目標達成状況の振り返り	山本地区で昨年度に引続き実施するところで効果的な整備が図れた。											
改革改善の考え方	①問題点	山林と農地の林縁部が手入れされない箇所が多く農業被害が拡大している。特にサルについては群れの中の頭数や群れ数も増えており、サル被害に対する対策が重要である。										
	②改革提案	効果的な事業であるが、他の事業も含め総合的に対策をしていく必要がある。										